

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-141 A-179	22-012	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
An Alcohol Symptom Checklist identifies high rates of alcohol use disorder in primary care patients who screen positive for depression and high-risk drinking アルコール症状チェックリストはうつ病および高リスク飲酒が疑われるプライマリケア患者において多くのアルコール使用障害を特定する		
執筆者		
Ryan ED, Chang YM, Oliver M, Bradley KA, Hallgren KA.		
掲載誌		
BMC Health Serv Res. 2022 Sep 5;22(1):1123. doi: 10.1186/s12913-022-08408-1.		
キーワード	PMID	
アルコール症状チェックリスト、アルコール使用障害、高リスク飲酒	36064354	
要 旨		
<p>目的：プライマリケア患者を対象にアルコール症状チェックリストを用いて抑うつおよびアルコール使用障害(AUD)と高リスク飲酒の関連を明らかにする。</p> <p>方法：米国のプライマリケア患者約 37 万人に抑うつ尺度 (PHQ-2) と飲酒量スクリーニングテスト(AUDIT-C)を実施し、高リスク飲酒者 8,184 人(AUDIT-C スコア 7-12)にはアルコール症状チェックリストを用いて DSM-5 で定義された 11 の AUD 項目の有無を調査した。一般化線形モデルで高リスク飲酒と AUD (2-11 AUD 項目) の有病率をうつ病スクリーニング陽性者と陰性者で比較した。</p> <p>結果：うつ病スクリーニング陽性者は、陰性者より高リスク飲酒の有病率が 131% 高かった (5.2% 対 2.2%; $p < 0.001$)。高リスク飲酒者において、抑うつ陽性者は、AUD の有望率が高く (69.8% 対 48.0%; $p < 0.001$)、PHQ-2 スコアの増加に伴い、AUD の有病率は増加した (PHQ-2 スコア 0; 37.6%、1; 55.3%、2; 65.2%)。</p> <p>結論：うつ病スクリーニング陽性者は高リスク飲酒の可能性が高い。うつ病スクリーニング陽性および高リスク飲酒者の大部分が、アルコール症状チェックリストによって AUD の症状をプライマリケア医療者に報告できる。</p>		